



鈴鹿市立国府幼稚園 2023.6. 30 No.4

梅雨らしい天気が続き、じめじめと蒸し暑くなりましたね。「雨がやんだから、外で遊べる?」「今日は暑いから、中で遊ぼう」「今日はお昼から、雨が降るって言ってたよ」と、子どもたちも毎日の天気が気になる様子です。

汗もたくさんかくようになったので、こまめに水分補給をするように、汗を拭いたり着替えたりするように促していき、熱中症対策をしていきたいと思います。毎日、汗拭きタオルの用意をお願いします。



ツマグロヒョウモンのために・・・

今年も、たくさんのツマグロヒョウモンの幼虫がさなぎになり、きれいな蝶になって羽ばたいていきました。運よく羽化するところを全部見る事ができた子もあり、ツマグロヒョウモンの蝶を見かけると、「この前生まれたやつじゃない?！」と、嬉しそうに蝶の様子を見えています。

そのような中、みんなが無事に羽化できたわけではなく、一匹、上手く殻を脱ぐことができず、羽が曲がってしまい、飛べない蝶が生まれました。子どもたちに話をすると、「逃がしてあげる?」「このままだと、お腹がすいて死んじゃうよ!」「お花を取ってきたら、いいんじゃない?」と、蝶のためにみんなで集まって相談を始めました。



これかなあ?

違うよ。こっちじゃない?

「図鑑を見たら、どうしたらいいか書いてあるんじゃない?」という一人の子の提案から、みんなで図鑑を囲んで調べています。



「たくさんのお花があるところに、逃がしてあげよう」ということになり、みんなで考えて職員室前の花壇に逃がしてあげました。「たくさん花が咲いてるから、安心だね」「仲間もいるみたいだよ」「カエルもいるけど、大丈夫かなあ・・・」と、それぞれ感じたことをつぶやきながら、ツマグロを見守っていました。

小さな生き物の命にふれ、みんなで感じ考えるいい機会となりました。

那須コーチのサッカー教室がありました！

7 日に、サッカー教室がありました。元なでしこジャパンで活躍されていた那須コーチ、そして森コーチに来ていただき、楽しく、面白く体を動かしながらサッカーを教えていただきました。



ウォーミングアップから楽しんでいた子どもたち。この日は天気が良く少し暑かったのですが、誰も「疲れた」と言うことなく、最初から最後まで元気いっぱい体を動かしていました。

最後の試合は、大盛り上がり！勝って大喜びする子もいれば、負けて「はあ・・・」と悔しそうにする子も。思い切り楽しんで、大満足なサッカー教室でした。

さつまいもの苗さしをしました

13日に、さつまいもの苗さしをしました。地域の方にもお世話になり、植え方を教えていただいたり、一緒に植えてくださったりしました。

子どもたちは、「焼きいも、楽しみだなあ」「100個くらい、できるんじゃない?！」と、今から収穫を楽しみにしているようです。



水遊びが、始まりました♪

19日から、子どもたちがとても楽しみにしていた水遊びがスタートしました。初日から、「やった～!! プールだあ!」と大喜びだった子どもたち。ここ最近、コロナの影響でプールが中止になっていましたが、今年はプール解禁! ということで、天気のいい日は思い切り水遊びを楽しみたいと思います。



冷たいけど、気持ちいいなあ♪



きゃ～! つめたい!!



写真ではわかりにくいですが、スプリンクラーから出る水を思い切り浴びています。「修行だ!」「雨だ!」と思い思いのイメージをもって、楽しんでいました。

こうっこタイムで、水遊びをしました♪

さくら組さんと過ごす楽しい時間、こうっこタイムで水遊びをしました。普段はそれぞれのクラスで楽しんでいる水遊びを一緒に楽しむということで、子どもたちはこの日を楽しみにしていました。

今回は、ペアの子と一緒に宝拾い、的当て、シャワーの3つのゲームをしました。一つ一つを一緒に楽しんだり、待っている間も声を合わせて友だちを応援したりする姿が見られ、前回のこうっこタイムの時よりも、少し打ち解けてきたようです。



水鉄砲の的当てでは、なかなか倒れなくて苦戦するペアも。でも、あきらめずに何度も二人で挑んでいました。



シャワーは、5秒間。忍者の滝修行のように、二人で耐えていました。



みんなとハイタッチしたら、ゴール！
待っている子は、「そろそろかな」と、手を伸ばして友だちを出迎えてくれていました。



うめ組さんと、いちご組さん



こうっこタイムのような大きなかわりがあるわけではありませんが、一緒に行事に参加したり、いちご組さんがうめ組の前を通るときに手を振ったり、いろいろなところでちょっとしたかわりがあります。

そのよう中で、最近遊びの時間に鬼ごっこをしていると、いちご組の何人かが「入れて！」と鬼ごっこに入り、一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。「かわいい！」と言いながらも、さくら組よりも小さいいちご組に初めはどのようにかわったらいのかかわからないようでした。いちご組の子に少しでも声をかけられると、戸惑って目が泳ぐ子もいれば、どのように伝えたらいいのかわからず黙ってしまう子、なかなかルールをわかってもらえず困ってしまう子など、大きな戸惑いがあったようでした。

しかし、何回か一緒に遊ぶ機会があると、「〇〇くん、入ったよ！」とみんなにいちご組が入ったことを知らせたり、「増え鬼、知ってる？」と確認してくれたり、「いちご組さんが鬼の時は、ゆっくり走ってあげよう」と自分たちなりに配慮したりする姿が見られるようになってきました。

いちご組とのかわりが、相手の気持ちを考えたり、伝え方を考えたりする一つの機会になるといいなと思います。



帽子の色の黄色が鬼、黄緑・赤が逃げる役ですが、タッチしたはずのいちご組さんの帽子が赤いまま。相手がうめ組ではないため、はっきり言えず……。子どもたちは、モヤモヤしながらも怒らず、「タッチしたから、帽子の色変えるよ」と繰り返し知らせていました。

お姉ちゃん、待て～！！

鬼になったいちご組に追いかけられる際、相手に合わせて走るスピードをゆるめていました。

うめ組の子どもたちは、いちご組に追いかけられると、少しうれしそうです。





増え鬼は、最後まで捕まらずに残った子が、次に最初の鬼になります。

このとき、れいやくんが最後まで残ったので「次は、れいやくんが鬼だね」と確認していたところ、いちご組さんが次々と「次、僕鬼ね!」と言い始めました。

「でも、ルールが…」「どうする?」と、みんなで集まって相談しています。

話し合いの結果、「れいやくんと一緒に、鬼をやろう!」「うめ組さんが一緒だと、安心だよね」ということになりました。

うめ組だけで鬼ごっこをやった時に同じような場面になると、「何で?!」「そんなの、ダメだよ!」と揉めてしまいましたが、この時はいちご組さんに合わせて考え、ルールを変えていました。



後日、いちご組さんがバルーンをするということで、うめ組もそこに入れてもらいました。一緒の空間で、一緒に遊び、「楽しい!」「面白い!」気持ちを共有できたのではないかなと思います。

